

ボイスナビ エディタ

ユーザーズマニュアル サポートソフト VoiceNavi Editor 3J [3.0.1]

	2J	UM_VNVE3J_A051219
2J の Vista 対応	3J 3.0.0	-
WAV-4/MPX シリーズ追加	3J 3.0.1	UM_VNVE3J_A090519
会社所在地変更	3J 3.0.1	UM_VNVE3J_B160406

このたびは、サポートソフト VoiceNavi Editor をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本ソフトウェアの優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにもこの取扱説明書をよくお読み下さい。

バージョン 3J (Vista 対応版)の変更点

●作成したカードデータの保存先

Windows Vista に対応するため、CardData フォルダを移動しました。

バージョン	作成したカードデータの保存先
3J	マイドキュメント VoiceNavi Editor CardData
2/1J	Program files VoiceNavi Assist VoiceNavi Editor CardData

●Sound 登録画面のコメント欄

登録する WAVE ファイルにコメントを入力できるようにした。

目次

1.	概要	2
2.	特長	2
3.	動作環境	3
4.	適用メモ리카ード	4
5.	適用音声データ(WAVE ファイル)	4
6.	本ソフトウェアの入手	5
7.	本ソフトのインストールとアンインストール	5
8.	本ソフトの初回起動 (使用許諾契約書・ユーザー情報登録)	6
9.	KEY CODE の請求	6
10.	KEY CODE の入力	7
11.	本ソフトの操作手順	8
12.	エディタ画面	9
13.	詳細設定画面 ■フォルダ設定 ■機種・モード設定 ■KEY CODE 他	10
14.	音声・音響データの用意	12
15.	音声・音響データの事前登録・変更 (SOUND 登録) ■ツール (16Bit→8Bit 変換/ステレオ→モノ変換/無音 WAVE データ作成)	13 15
16.	エディットアドレス(接点端子)への登録・変更	16
17.	エディットプログラム登録(組立再生・リピート回数・出力系統) ●フレーム再生(組立再生) ●リピート回数 ●出力系統	19
18.	カードデータの作成 ■作成したカードデータの保存場所	21
19.	作成したカードデータをメモ리카ードへコピー	24
20.	ドキュメントの印刷	25
21.	音声データの追加・変更	25
22.	音声データのアドレスの変更・プログラム登録内容の変更	25
参照	■パソコン録音で音源データ(WAVEファイル)を作成する場合	26
	■テキスト音声変換ソフトで音源データ(WAVEファイル)を作成する場合	27
	■ICレコーダ(ボイスレコーダ)で音源データ(WAVEファイル)を作成する場合	27
	■オーディオ CD/MP3・WMA・MIDI ファイルから音源データ(WAVEファイル)を作成する場合	27

VoiceNavi 三共電子株式会社 ボイスナビ事業部

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉 3500-17

TEL 026-257-6210 FAX 026-217-2893

E-mail:info@voicenavi.co.jp

URL:http://www.voicenavi.co.jp

1. 概要

本サポートソフトは、Windows パソコン上で再生ユニット・ボード、録音再生ユニット・ボード WAV/WRX/MPX シリーズのカードデータを作成するソフトウェアです。

音声・音源データの試聴・事前登録・削除、アドレス(接点端子)への音声・音源データの試聴・登録・削除、その際に組立再生やリピート回数などのプログラム登録もできます。

作成したカードデータは PC 付属または市販の USB カードアダプタ経由メモリカードにコピー(またはユニット・ボードのメモリに転送)して使用します。

ファイル読み込み機能による既存のカードデータを読み込、追加・変更や各種ドキュメントを表示・印刷できますので長期運用の音声・音源システムの最適です。

[ご注意]

本ソフトは音声・音源データを録音・編集するソフトではありません。

音声・音源データの録音・編集には PC 搭載の録音ソフト、フリーウェア・市販の録音編集ソフトをご使用下さい。

サンプリング周波数等のコンバートも同様です。

2. 特長

■ Vista/XP/2000 対応

Windows Vista に対応しました

■ 試聴しながら音声・音源データの事前登録・削除できます

個別・全試聴しながら使用したい音声・音源データを事前登録できます。

■ 試聴しながらアドレス(接点端子)登録・削除ができます

使用するユニット・ボードのアドレス(接点端子)に試聴しながら、事前登録した音声・音源データから選択登録します。組立再生なども試聴できます。

■ 255/1000CH 版対応

255/1000CH 版用のカードデータを作成できます。

■ 複数の音声・音源データ収納フォルダ切替対応

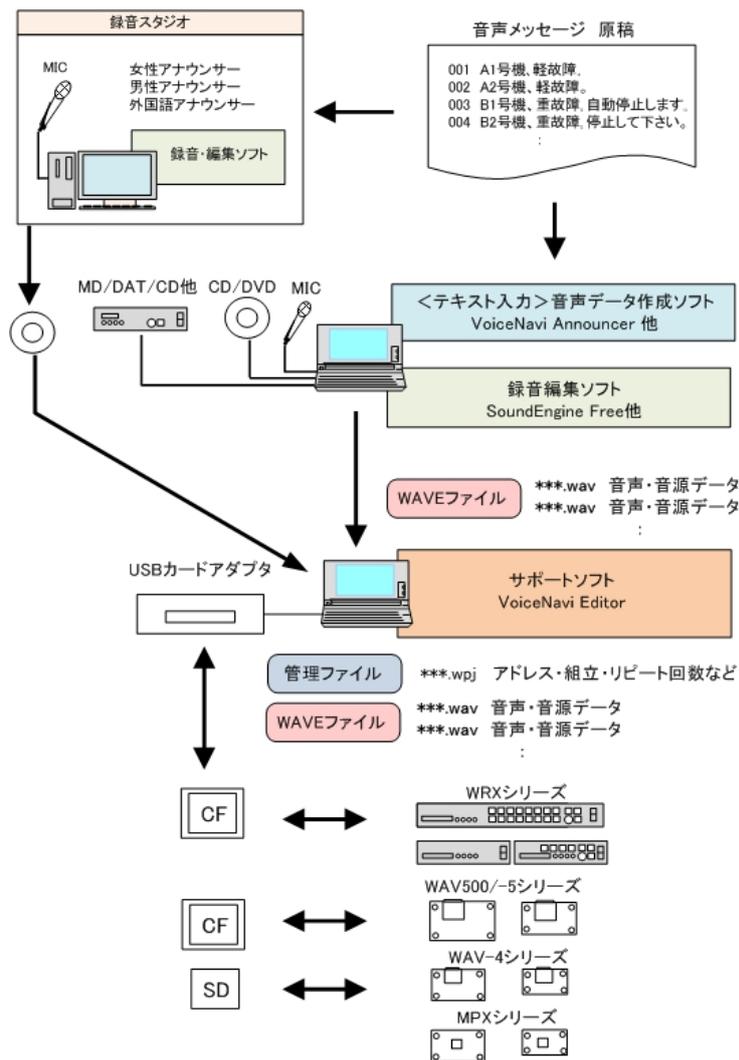
複数の音声・音源データ収納フォルダを切り替えて、音声・音源データを登録できます。

■ プログラム登録

1 アドレス(接点端子)に最大 8 ファイルの組立再生、5 回までのリピート回数を登録できます。

■ ドキュメント作成機能

SOUND 登録情報・プログラム再生登録情報等印刷出力できます。



3. 動作環境

パソコン	下記 OS 搭載に Windows マシン Windows Vista/XP/2000								
メモリ	上記 OS が必要する「メモリ容量」								
ハードディスク	1GB 以上の空き容量 (別途、登録する音声・音源データファイルの容量並びに作成するカードデータの容量)								
カードアダプタ	パソコン付属または市販の USB 接続タイプのカードアダプタ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>適用カード</th> <th>使用機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CF カード</td> <td>WAV500/5 シリーズ WRX シリーズ</td> </tr> <tr> <td>SD カード MMC カード</td> <td>WAV-4 シリーズ MPX シリーズ</td> </tr> <tr> <td>SM カード</td> <td>WAV100B/200B/250B/300B シリーズ WAV2000/3000 シリーズ</td> </tr> </tbody> </table>	適用カード	使用機種	CF カード	WAV500/5 シリーズ WRX シリーズ	SD カード MMC カード	WAV-4 シリーズ MPX シリーズ	SM カード	WAV100B/200B/250B/300B シリーズ WAV2000/3000 シリーズ
適用カード	使用機種								
CF カード	WAV500/5 シリーズ WRX シリーズ								
SD カード MMC カード	WAV-4 シリーズ MPX シリーズ								
SM カード	WAV100B/200B/250B/300B シリーズ WAV2000/3000 シリーズ								

4. 適用メモ리카ード

製品に使用するメモ리카ードは製品付属または弊社が推奨するメモ리카ードをご使用下さい。

付属または推奨以外のメモ리카ードを使用する場合は、

適用カード	使用機種	カード要領	フォーマット
CF カード	WAV500/5F シリーズ WRX シリーズ	32～ 1/2GB	FAT(16) (注)FAT32/NTFS不可
MMC カード SD カード	WAV-4 シリーズ	512MB～2GB	FAT(16) (注)FAT32/NTFS不可
(SD カード)	MPX シリーズ	512MB～2GB	FAT(16) (注)FAT32/NTFS不可
SM カード	WAV100/200/300 シリーズ WAV2000/3000 シリーズ	機種による 32/64/128MB	FAT(16) (注)FAT32/NTFS不可

(注)MPX シリーズの場合、データ転送時のみ SD カード要。

5. 適用音声データ(WAVE ファイル)

WindowsOS の標準サウンドファイル WAVE(ウェーブまたはワブ)ファイルを使用できます。

【登録可能音声・音響データファイル】

シリーズ	音源タイプ	登録可能サンプリングモード	備考欄
WAV500 シリーズ WAV-5 シリーズ	WAV	44.1KHz 16/8Bit Mono 22.05KHz 16/8Bit Mono	11.025KHz 16/8Bit Mono 可 32/16/8KHz 16/8Bit Mono 可
WAV-4 シリーズ	WAV	22.05KHz 16/8Bit Mono	11.025KHz 16/8Bit Mono 32/16/8KHz 16/8Bit Mono 可
WRX シリーズ	WAV	44.1KHz 16/8Bit Mono 22.05KHz 16/8Bit Mono	
WAV100/200/300 シリーズ WAV2000/3000 シリーズ	WAV	44.1KHz 8Bit Mono 22.05KHz 8Bit Mono	11.025KHz 8Bit Mono 16/32KHz 8Bit Mono 可
MPX シリーズ	mp3	22.05KHz 16/8Bit Mono	44.1KHz 16/8Bit Mono 可

(注)WAV500/5/-4A シリーズは再生時、12bit 化処理再生

【1 ファイル容量制限】

シリーズ	1 ファイル容量制限	備考欄
WAV500/5F シリーズ	使用するカード容量内	
WRX シリーズ	使用するカード容量内	
WAV100/200/300 シリーズ WAV2000/3000 シリーズ	16MB 未満	5.6 分 max. (44.1KHz 8Bit Mono 時)
MPX シリーズ	指定メモリ容量内	

【適用ファイル形式】 (注)日本語、ロングネームのファイルは使用できません

8.3 形式	アルファベット英数字 8 文字表示 [例] 1234568.wav 111_123.wav aaaaa123.wav abc_001.wav
--------	---

- (注意) ・ロングネームのファイル名はご使用できません。
・スペース、-, (), {} など Windows 上のファイル名の禁止文字は使用できません。

6. 本ソフトウェアの入手方法

下記方法でサポートソフトを入手できます。圧縮されている場合、解凍後インストールして下さい。

フル機能版として使用する場合、KEY CODE が必要ですので、オンラインユーザー登録して KEY CODE を事前に配布を受けることを勧めます。＜参照＞ 9. ユーザー登録と KEY CODE 配布

弊社ホームページからダウンロード	Http://www.voicenavi.co.jp
ユニットを購入した場合	付属のメモリカード内に収録
テストパック(ボード)を購入した場合	付属のメモリカード内に収録
テキスト音声データ作成ソフト VoiceNavi Announcer 2J	CD 内に収録

7. 本ソフトのインストールとアンインストール

【インストールの権限者】 下記の権限者がインストールしてください。他のアカウントではインストールできません。

Windows Vista /XP	コンピュータの管理者
Windows 2000	アドミニストレータ

■インストール



インストール権限者がインストールしてください。他のアカウントではインストールできません。

パソコン上の他のプログラムを全て終了します。
「Setup」プログラムをクリックしてください。



左記の画面が表示されます。

【ディレクトリを変更する場合】

ディレクトリ変更ボタンでインストール先を変更して下さい。

| Program Files | VoiceNavi Assit | VoiceNavi Editor | 内にインストールします。
また | スタート | プログラム | メニュー内にアイコンを作成します。



【収納・作成ファイル】

VoiceNavi Editor.exe—実行ソフト

CardData フォルダ—カードデータファイル収納先

Temp フォルダ—一時データ保存場所

(注意)旧バージョンをインストール済みの場合

VoiceNavi Editor 3J をインストールしても上書きしません。

Program Files 内に新しいフォルダを作成して、インストールします。

旧バージョン| Program Files | 旧 VoiceNavi Editor | Card Data | 内のカードデータフォルダはマイドキュメント| VoiceNavi Editor CardData|内に移動(または複写)して下さい。

■アンインストール

| スタート | 設定 | コントロールパネル | プログラムの追加・削除 | 本ソフトを指定し、削除して下さい。

(注)CardData などはバックアップ後、別に削除して下さい。

(注意)旧バージョンをアンインストールする前に

アンインストール前に | Program Files | 旧 VoiceNavi Editor | Card Data | 内のカードデータフォルダをマイドキュメントや DVD などへ退避させて下さい。

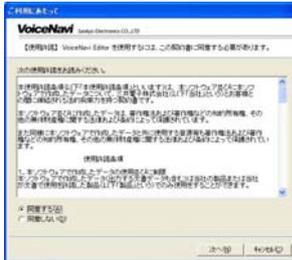
8. 本ソフトの初回起動（使用許諾契約書とユーザー情報登録）

初回の起動時(スタート | プログラム | VoiceNavi Editor)に、「使用許諾契約書の同意」、「ユーザー情報設定」の画面が表示されます。

同意の上、ユーザー情報を入力します。

(注) ユーザー情報は著作権保護のために、本ソフトで作成したカードデータファイル.wpj 内に記録されます。

■使用許諾契約



VoiceNavi Editor 並びに作成したカードデータは使用許諾契約書の適用を受けます。

(

■ユーザー登録情報

ユーザー情報登録画面が表示されます。

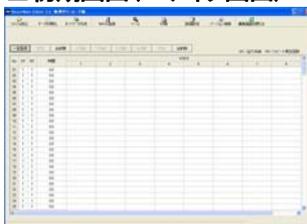
入力項目を正しくご記入ください。

(注)

本登録事項は著作権保護のために、本ソフトで作成したカードデータファイル.wpj に記録されます。

終了ボタン ON で下記のメニュー画面を表示します。

■初期画面(エディタ画面)



スタート | プログラム | VoiceNavi | VoiceNavi Editor |

または | Plogram files | VoiceNavi | VoiceNavi Editor | 内の実行ソフトをクリックします。

左記の初期画面(エディット画面)が起動します。

9. KEY CODE の請求 (注)製品未購入者にも配布します。

製品未購入者も KEY CODE を請求できます。

したがって、メーカー設計・製造・製造・検査部門、サービス部門、最終クライアントでも音声・音源データの登録・変更ができます。

【ホームページの場合】



ホームページで請求、E-mail で送付します。

【配布日】

(平日の場合) 当日または翌日

(土日祝日の場合) 月曜日または祝日明け

弊社ホームページ

www.voicenavi.co.jp|サポート | ユーザー登録 | KEY CODE | のユーザー登録を行って下さい。

(注)下記事項を必ず、記入して下さい。

製品型式 VoiceNavi Editor 機能限定版 会社名、氏名、住所、TEL、E-mail

10. KEY CODE の入力

使用する機種に対応する KEY CODE を入力します。

KEY CODE	適用機種
1	255CH タイプ WRX シリーズ WAV500 シリーズ WAV-5 シリーズ WAV シリーズ(8bit タイプ)
2	1000CH タイプ WRX6500 WRX-8F3-K 他
3	WAV-4 シリーズ
4	MPX シリーズ

■KEY CODE 入力



| エディタ画面 | 詳細設定 | KEY CODE | で KEY CODE を入力します。

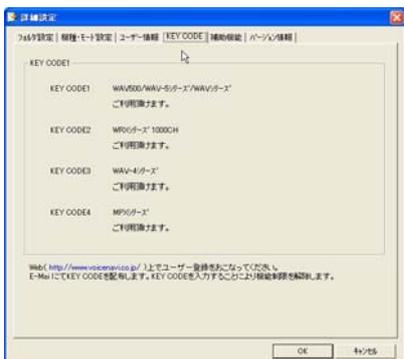
【通常版】KEY CODE を入力します。

1J 所有者	1J 版と同一 KEY CODE です。 忘れた方は、再度ユーザー登録してください。
--------	---

【KEY CODE 入力前の機能制限】

- ・合計 32MB 以上の WAVE ファイルは登録できません。
- ・ファイルコンバート機能が使用できません。
- ・1000CH/WAV-A/MPX シリーズは使用できません。

KEY CODE を入力した製品シリーズが使用できます。

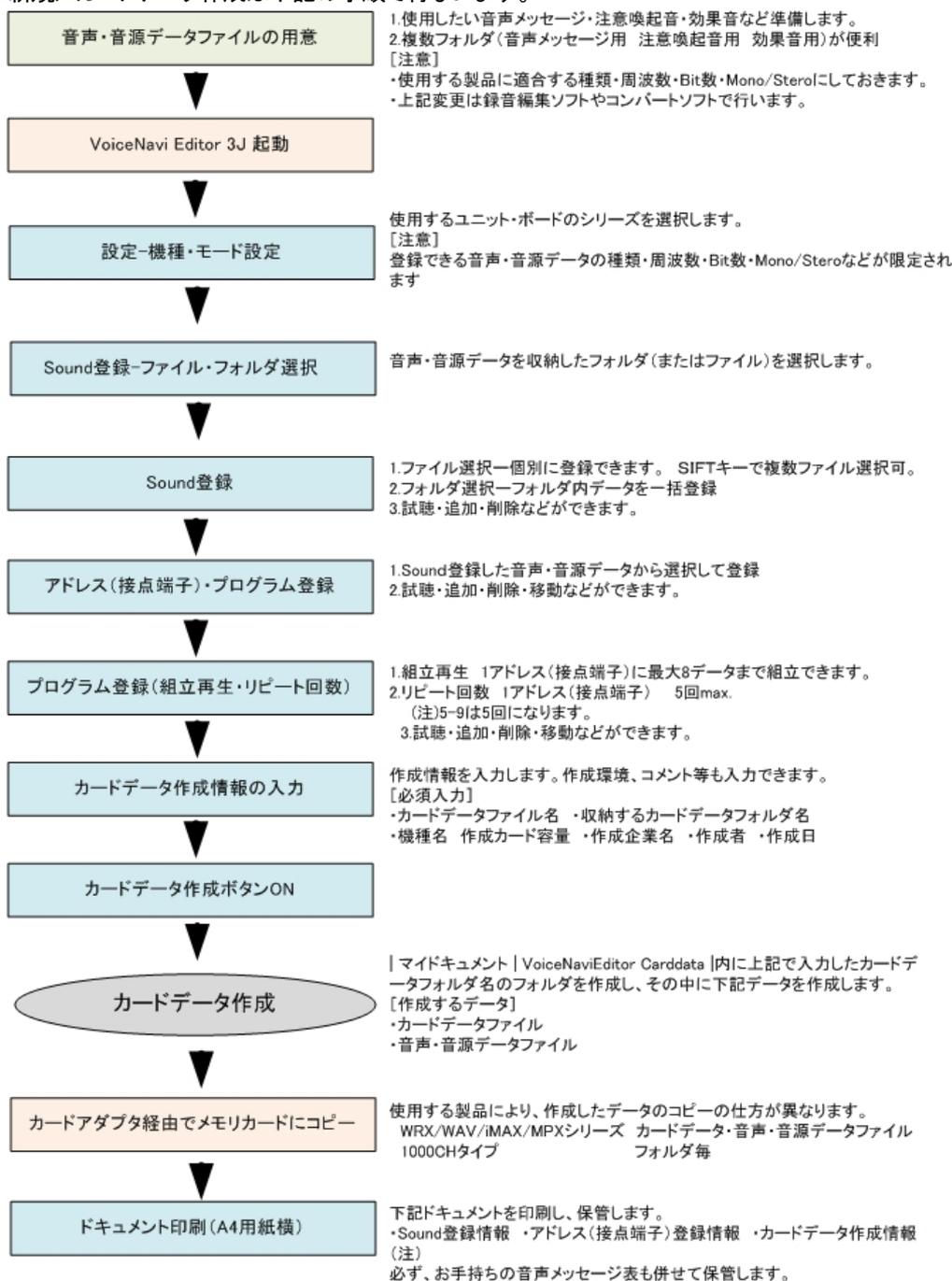


(注)

詳細設定—機種・モード設定で使用する製品を設定します。

11. 本ソフトの操作手順

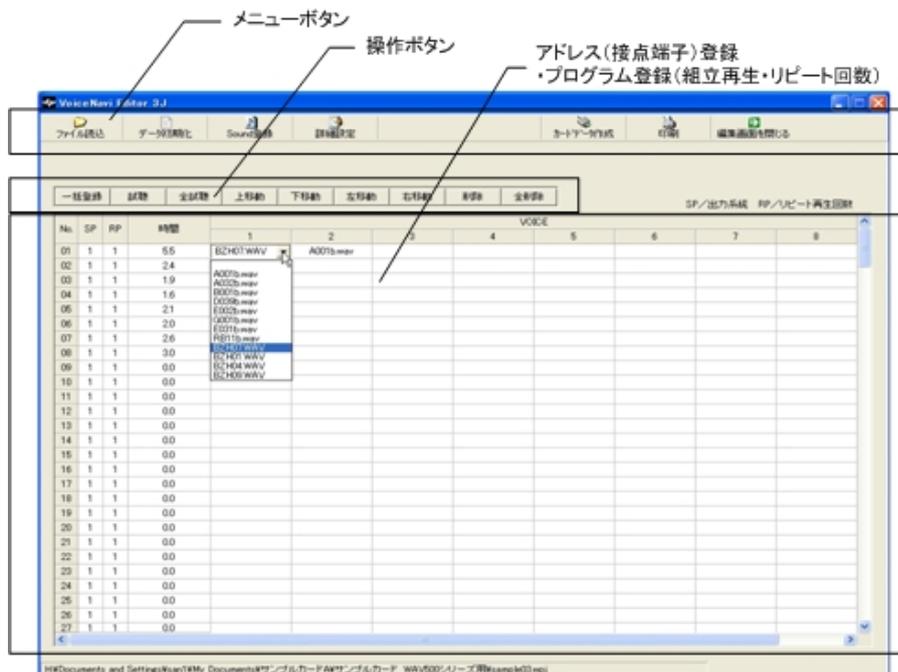
新規にカードデータ作成は下記の手順で行ないます。



12. エディタ画面

【エディタ画面】

KEY CODE 入力後は、この画面が起動後の初期画面になります。



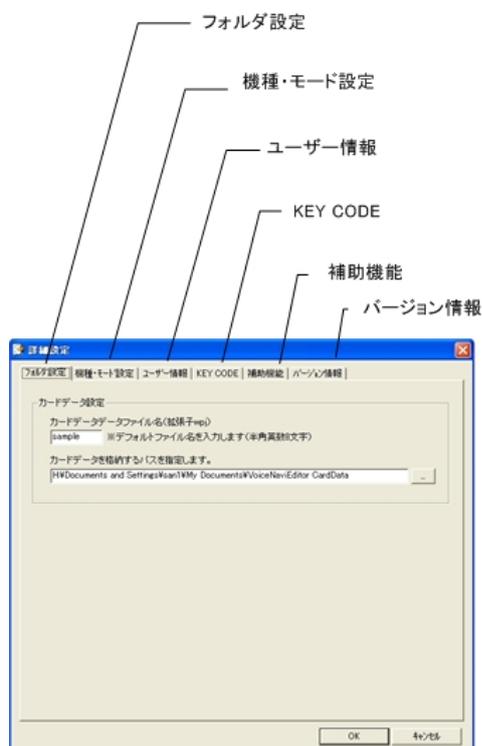
【操作ボタン1】



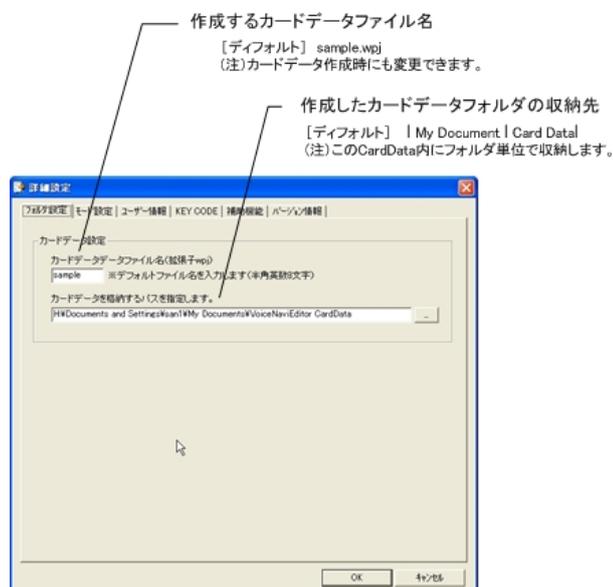
名称	内容
ファイル読み込み	既存のカードデータファイルを読み込みます
データ初期化	エディタ画面内容、WAVE 登録情報、カードデータ作成情報などを初期化(オールクリア)します
カードデータ作成	カードデータファイル名、収納するフォルダ名、作成者情報など所定事項を入力して、カードデータを作成します
SOUND 登録	使用する音声データ(WAVE ファイル)を登録します。
印刷	下記の情報を指定して A4 横用紙で印刷できます。 ・WAVE ファイル登録情報 ・エディタ(アドレス・プログラム)登録情報 ・カードデータ作成情報
詳細設定	下記の設定ができます ・フォルダ設定 ・モード設定 ・ユーザー情報 ・KEY CODE
バージョン情報	バージョン内容

13. 詳細設定画面

詳細設定ボタンを押し、下記の内容を設定します。



■フォルダ設定



[カードデータファイル名]

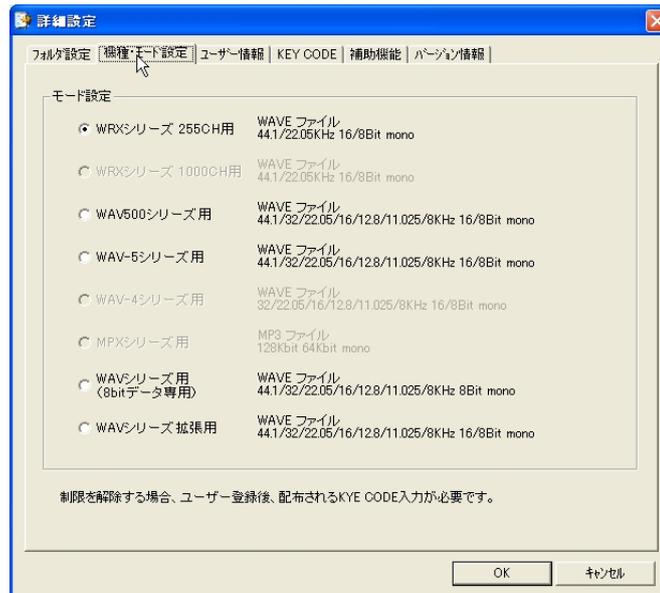
アルファベット英数字 8 文字

(注)カードデータ作成画面でも入力できます。

[カードデータ収納先パス]

| Program Files | VoiceNavi Assist | CardData |

■機種・モード設定



使用する製品・シリーズを選択・設定します。

(注)・設定した機種・モードで登録可能な音声・音響データファイルに制限があります。

・KEY CODE 入力した機種・モードが選択・設定できます。

(注)

	機種・モード	適用音声・音源ファイル	適用メモ리카ード
1	WRX シリーズ 255CH 用	WAVE 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono	CF カード ^①
2	WRX シリーズ 1000CH 用	WAVE 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono	CF カード ^①
3	WAV500 シリーズ用	WAVE 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono (32/16/12.8/11.025/8KHz 可)	CF カード ^①
4	WAV-5 シリーズ用	WAVE 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono (32/16/12.8/11.025/8KHz 可)	CF カード ^①
5	WAV-4A シリーズ用	WAVE 22.05/11.025KHz 16/8Bit Mono (32/16/12.8/8KHz 可)	SD/MMC カード ^②
6	MPX シリーズ用	mp3 128/64/40bps 他	SD/MMC カード ^②
7	WAV シリーズ用 (8Bit データ専用)	WAVE 44.1/22.05KHz 8Bit Mono (32/16/12.8/11.025/8KHz 可)	SDFC カード ^③ (スマートメディア)
8	WAV シリーズ拡張用	WAVE 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono (32/16/12.8/11.025/8KHz 可)	特定ユーザー用

■KEY CODE



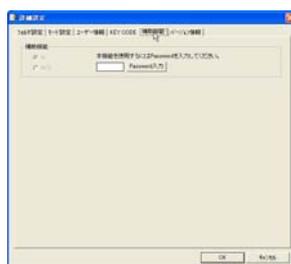
無償配布しているソフトでは機能限定(機種限定)されています。
使用したい製品の KEY CODE を請求して入力します。

参照	9.KEY CODE の請求 10.KEY CODE の入力
----	-----------------------------------

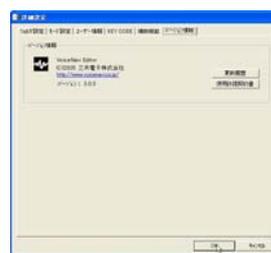
■ ユーザー情報



■ 補助機能



■ バージョン情報



14. 音声データ(WAVE ファイル)の用意

音声データ(WAVE ファイル)をご用意下さい。

音声データ(WAVE ファイル)を適当な名称のフォルダに収納して下さい。

【登録可能な音声データ(WAVE ファイル)】

使用する再生ユニットなど機種により、サンプリングモード、容量などが異なります。

(参照) 5. 適用音声データ(WAVE ファイル)

■ 音声データ(WAVE ファイル)の用意



事前に使用する音声データ(WAVE ファイル)を1つ、または複数のフォルダにご用意下さい。

(注)

複数の WAVE ファイル収納フォルダを切替え、登録できます。

■ 音声データ(WAVE ファイル)の収納フォルダ

VoiceNavi Editor の Sound 登録では複数の収納フォルダを切り替えて、個別ファイル単位、フォルダ単位で登録できます。

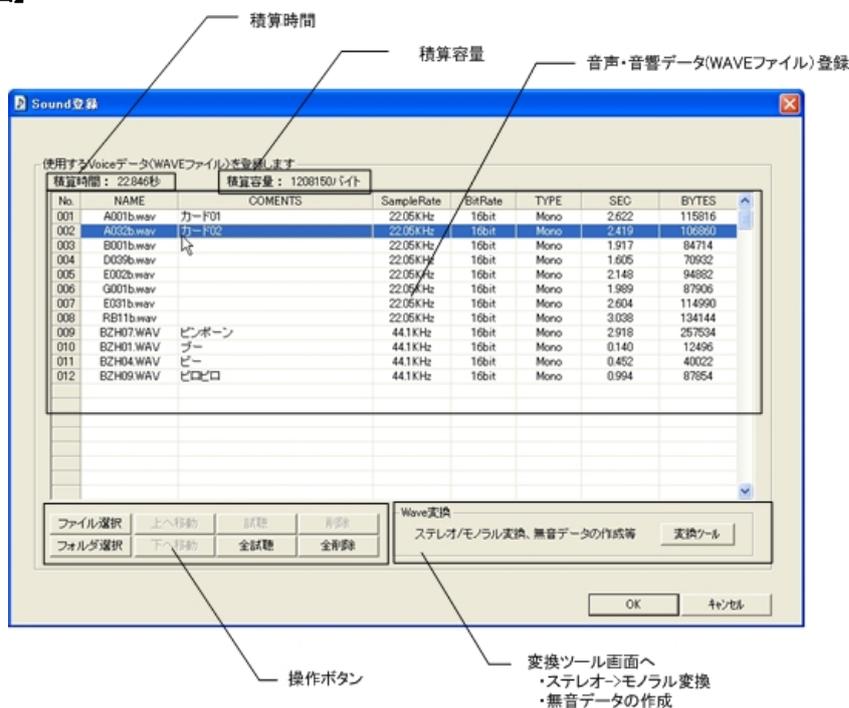


15. 音声・音響データの事前登録・変更（SOUND 登録）

登録前に	詳細設定画面の機種モード設定で使用する製品・シリーズを設定して下さい。
------	-------------------------------------

本 WAVE 登録画面で、使用する音声データ(WAVE ファイル)を登録します。
本画面で登録した音声データ(WAVE ファイル)はエディタ画面(アドレス・プログラム登録)上で何回でもご登録できます。

【SOUND 登録画面】

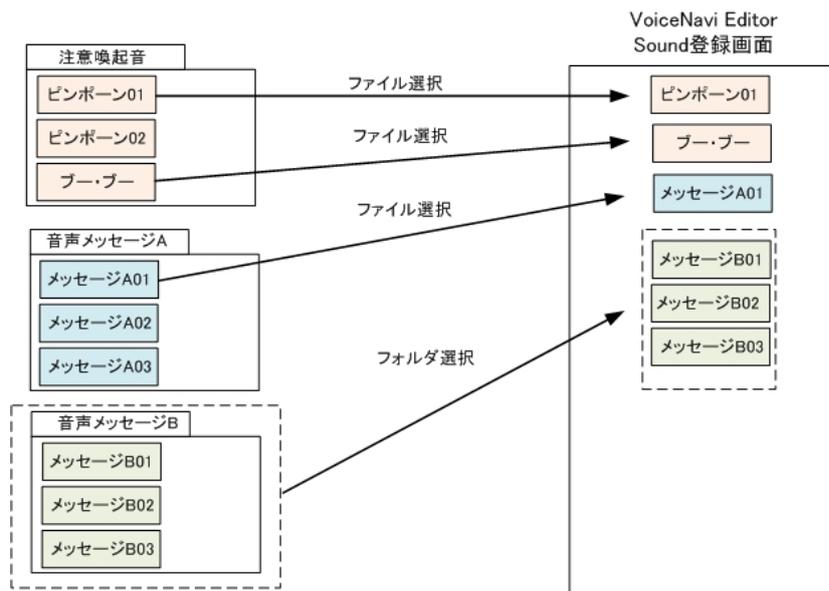


【操作ボタン 2】

ファイル選択	上へ移動	试听	削除
フォルダ選択	下へ移動	全试听	全削除

名称	内容
ファイル選択	指定したフォルダ内の音声データ(WAVE ファイル)単位で登録します。 [複数ファイル登録] SIFT+ Ctrl+など使用して複数ファイルを選択
フォルダ選択	指定したフォルダ内の音声データ(WAVE ファイル)を一括で登録できます
上移動	音声データ(WAVE ファイル)を上移動
下移動	音声データ(WAVE ファイル)を下移動
试听	No.単位で试听できます
全试听	No.全てを順番に试听できます
削除	指定した音声データ(WAVE ファイル)を削除します
全削除	画面上的全音声データ情報を削除(オールクリア)します

Sound 登録では複数の収納フォルダを切り替えて、個別ファイル単位、フォルダ単位で登録できます。



【登録可能音声・音響データファイル】

シリーズ	音源タイプ	登録可能サンプリングモード	備考欄
WAV500 シリーズ	WAV	44.1KHz 16/8Bit Mono	11.025KHz 16/8Bit Mono 可
WAV-5 シリーズ		22.05KHz 16/8Bit Mono	32/16/8KHz 16/8Bit Mono 可
WAV-4 シリーズ	WAV	22.05KHz 16/8Bit Mono	11.025KHz 16/8Bit Mono 32/16/8KHz 16/8Bit Mono 可
WRX シリーズ	WAV	44.1KHz 16/8Bit Mono 22.05KHz 16/8Bit Mono	
WAV100/200/300 シリーズ	WAV	44.1KHz 8Bit Mono	11.025KHz 8Bit Mono
WAV2000/3000 シリーズ		22.05KHz 8Bit Mono	16/32KHz 8Bit Mono 可
MPX シリーズ	mp3	22.05KHz 16/8Bit Mono	44.1KHz 16/8Bit Mono 可

(注)WAV500/5/-4A シリーズは再生時、12bit 化処理再生

【1ファイル容量制限】

シリーズ	1ファイル容量制限	備考欄
WAV500/5F シリーズ	使用するカード容量内	
WRX シリーズ	使用するカード容量内	
WAV100/200/300 シリーズ	16MB 未満	5.6 分 max. (44.1KHz 8Bit Mono 時)
WAV2000/3000 シリーズ		
MPX シリーズ	指定メモリ容量内	

【適用ファイル形式】 (注)日本語、ロングネームのファイルは使用できません

8.3 形式	アルファベット英数字 8 文字表示 [例] 1234568.wav 111_123.wav aaaaa123.wav abc_001.wav
--------	---

- (使用不可)
- ・ロングネームのファイル名はご使用できません。
 - ・スペース、-, (), {} など Windows 上のファイル名の禁止文字は使用できません。

【VoiceNavi Editor で再生でき、弊社製品上で再生できない(認識できない)WAVE ファイルについて】

サポートソフト VoiceNavi Editor は WAVE ファイルの再生は Windows OS に依存しています。

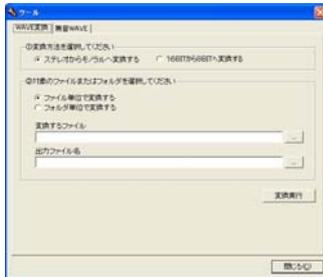
弊社製品は D/A 変換で WAVE ファイルを再生している関係上、M 再生できない(認識できない)WAVE ファイルがあります。MS DOS のファイル形式を採用しています。

現象・原因	対策
ファイル名またはファイル名の一部に日本語が使用されている場合	英数字のように見えるが、全角数字などが使用されているファイル ファイル名を半角英数字にする
ファイル名が 8 文字以上の場合	WAV/WRX シリーズでは日本語、ロングネームのファイル名に対応していません。 8 文字以内にする
ファイル名の禁止文字	スペース、-, (), {} 他 _(アンダーバー)は可
高額な録音編集ソフトで作成した WAVE ファイル	正規の情報箇所(タグ情報、付加情報)に記載されている 「SoundEngine」 「WavePassri」などのファイル読み込み・保存する
拡張子は.wav だが、実際の拡張子は違う	Windows PC 上では再生するが WAVE ファイルではない。 録音編集ソフトで読み込めるか試す。

■ツール (16Bit→8Bit 変換/ステレオ→モノ変換/無音 WAVE データ作成)

16Bit データを 8Bit データに、ステレオデータをモノラルデータにフォルダ単位、ファイル単位でコンポートできます。また無音の WAVE ファイルを 1～59 秒、1～5 分の時間指定で作成できます。

■WAVE 変換



WAVE ファイル ステレオ→モノラルまたは 16Bit→8Bit にフォルダまたはファイル単位でファイルコンバートできます。

【コンバートのファイル名】

コンバート前	コンバート後
*****.wav	****_001.wav

(注)****の部分の部分が同一の場合、_001～附番

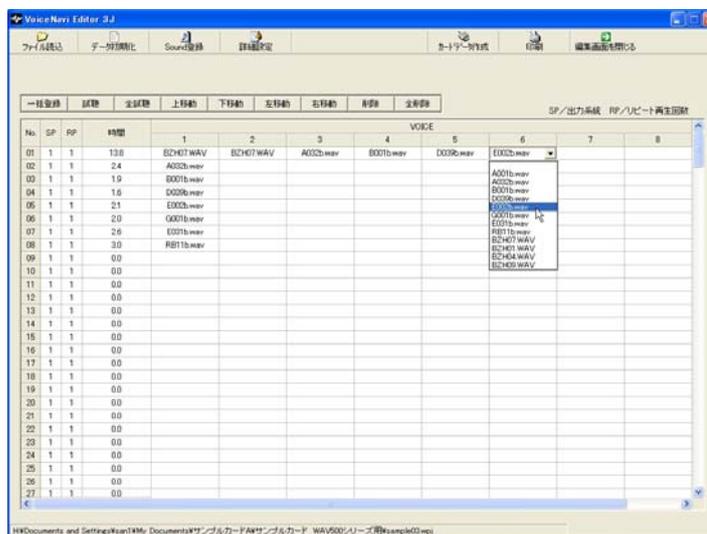
■無音 WAVE



無音の WAVE ファイルを作成できます。

16. エディット - アドレス(接点端子)へのデータ登録・変更

エディタ画面で、WAV/WRX シリーズに対応したアドレス (接点端子) 登録を行ないます。
必要に応じて、組立再生、リピート回数のプログラム登録を行ないます。
WAVE ファイル登録画面で登録した WAVE ファイルを何回でもご使用できます。



【エディタ画面】



【操作ボタン】



名称	内容
一括登録	WAVE ファイル登録画面のデータをエディタ画面に一括登録します
試聴	No.単位(アドレス)で試聴できます
全試聴	No.単位(アドレス)全てを順番に試聴できます
上移動	音声データ(WAVE ファイル)を上移動
下移動	音声データ(WAVE ファイル)を下移動
左移動	音声データ(WAVE ファイル)を左移動
右移動	指定した音声データ(WAVE ファイル)を削除します
削除	指定した音声データ(WAVE ファイル)を削除します その際、後に音声データがある場合、左移動します
全削除	エディタ画面の全音声データ情報を削除(オールクリア)します 但し、WAVE 登録データやカード作成データなどはそのままです。

No.	SP	RP	時間	1	2	3	4	5	6	7	8
01	1	1	55	BZH07.WAV	A007b.wav						
02	1	1	24	A007b.wav							
03	1	1	19	AC00b.wav							
04	1	1	16	B007b.wav							
05	1	1	21	E000b.wav							
06	1	1	20	E000b.wav							
07	1	1	26	E007b.wav							
08	1	1	30	BZH01.WAV							
09	1	1	00	BZH01.WAV							
10	1	1	00	BZH09.WAV							

名称	内容	メモ
No.	アドレス(接点端子)	後記記載の No.-アドレス対応表参照
SP	音声出力系統の設定	(注)出力系統の切替機能を有する機種
RP	リピート回数設定	最大 5 回までリピートできます (組立再生 1-8 全体)
VOICE 1-8	音声データ(WAVE ファイル)の登録	最大 8 データまで組立再生できます

■アドレス(接点端子)の登録

本画面の No.は、WAV/WRX シリーズのアドレス(接点端子)に対応しています。
 試聴ボタンで個別 No.毎に再生できます。
 全試聴ボタンで全 No.を再生できます。
 (注)プログラム登録内容も反映して再生します。

アドレス(接点端子)登録

Sound登録画面で登録した音声・音響データを表示

マウス左クリックでSound登録画面に登録したWAVEファイルを一覧表示
一覧表示から選択・クリックで入力

Sound登録画面

登録する No.のセルをマウスで指定し、WAVE ファイル選択画面から WAVE ファイルを選択・登録します。

■ 試聴



全試聴ボタンで全 No.を再生できます。(注)プログラム登録内容も反映して再生します。

【No.と再生ボード・装置 WAV/WRX シリーズのアドレス・接点端子対応表】

VoiceNavi Editor 上 アドレス登録画面表示	WAV/WRX シリーズ	
	アドレス	接点端子
1	01H	SW1
2	02H	SW2
3	03H	SW3
4	04H	SW4
5	05H	SW5
6	06H	SW6
7	07H	SW7
8	08H	SW8
:	(以降機種による)	(以降機種による)
:	:	:
254	FEH	FEH
255	FFH	FEH

【テクニック】

接点端子、アドレスの飛び飛びの割付	本画面で登録します。 (例)SW1-A.wav SW2-無 SW3-無 SW4-B.wav
WAVE ファイルが同一で、プログラム再生登録が異なるカードデータの作成	前回のカードデータをファイル読み込みで読み込みます。 WAVE ファイルの移動、削除、追加します。 カードデータ作成画面で、ファイル名、フォルダ名を変更して新規にカードデータを作成します。
WAVE ファイルを数多く登録しておいて、再生するカードデータを作成	例えば、スマートメディアに収納できれば、255の WAVE ファイルを登録しておいて、プログラム再生登録で、再生内容を変更していくこともできます。 予備の WAVE ファイルも登録しておけます。

17. エディット — プログラム登録（組立再生・リピート回数・出力系統）

各アドレス(接点端子)にフレーム(組立)再生やリピート回数などのプログラム登録ができます。
本登録を行なうと、製品での再生時、

【プログラム登録】

表示	項目	選択	概要
1~8	フレーム(組立再生)	WAVE ファイルを選択	1 アドレス(接点端子)-8WAVEmax.
RP	リピート回数	数字 1~9	1 アドレス(接点端子)-5 回 max.
SP	出力系統	数字 1~9	複数の出力系統を有する製品のみ

(注)リピート回数設定は、上記組立再生が有る場合、全体をリピートします

●フレーム再生(組立再生)

No.	SP	RP	時間	1	2	3	4	5	6	7	8
01	1	1	13.8	BZH07.WAV	BZH07.WAV	A032b.wav	B001b.wav	D039b.wav	E002b.wav		
02	1	1	2.4	A032b.wav							
03	1	1	1.9	B001b.wav							
04	1	1	1.6	D039b.wav							
05	1	1	2.1	E002b.wav							
06	1	1	2.0	G001b.wav							
07	1	1	2.6	E031b.wav							
08	1	1	3.0	R011b.wav							
09	1	1	0.0								
10	1	1	0.0								

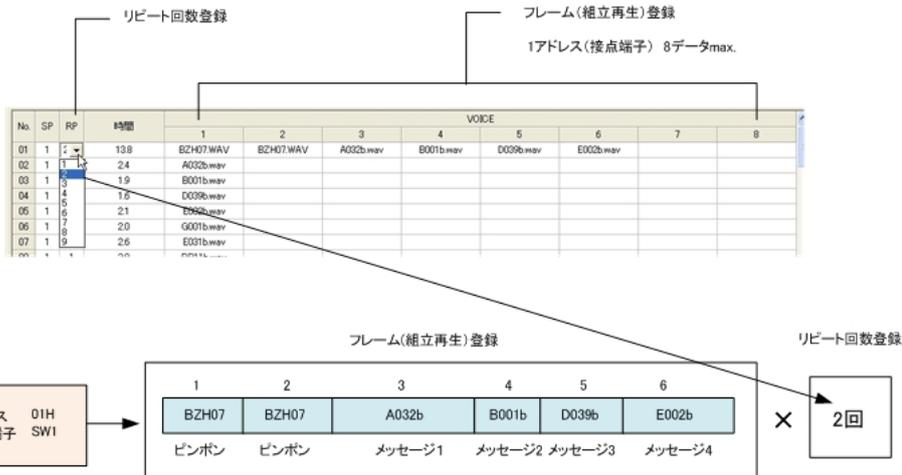


●リピート回数

No.	SP	RP
01	1	1
02	1	1
03	1	2
04	1	3
05	1	4
06	1	5
07	1	6
		7
		8
		9

リピート回数を設定します。(実際は再生回数)

RP	再生回数
1	1 回
2	2 回
3	3 回
4	4 回
5	5 回
6	
7	
8	
9	

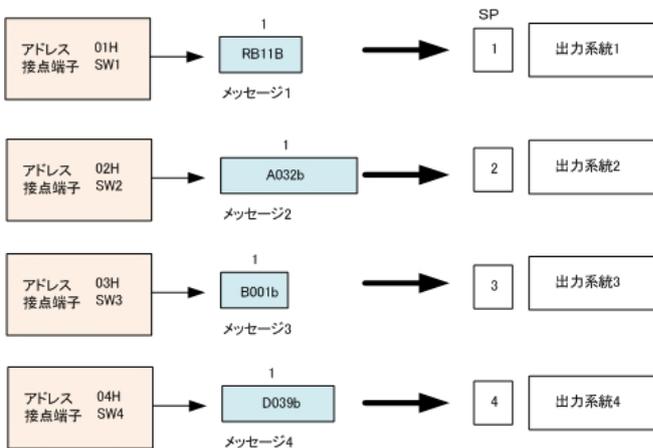


●出力系統

No.	SP	RP
01	1	1
02	2	1
03	3	1
04	4	1
05	5	1
06	6	1
07	7	1
08	8	1
09	9	1

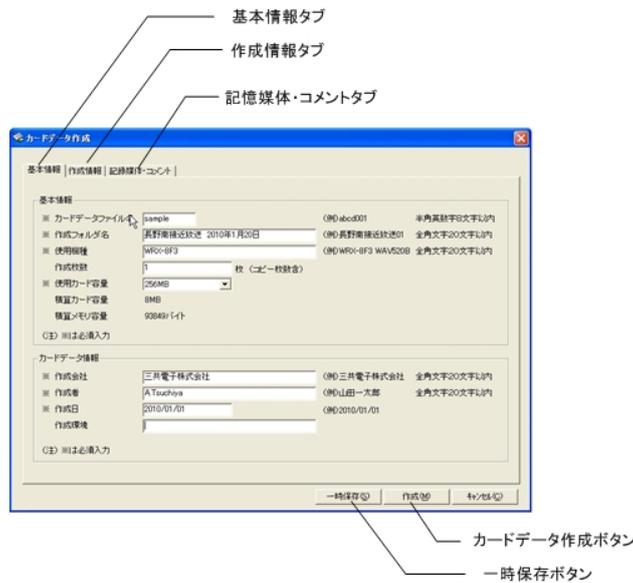
(注)本機能は、使用する製品によります。(WRX6500 など)音声出力系統を設定します。

- (注)
- ・本機能は、使用する製品によります。(WRX6500 など)
 - ・本機能は、製品による別の機能設定用に使用します。



18. カードデータの作成

下記のカードデータ作成画面に所定事項を入力し、カードデータ作成ボタンを押し、カードデータを作成します。



基本情報 [必須入力]	作成情報	記録媒体・コメント画面

■基本情報画面



項目	内容
カードデータファイル名	8.3 形式 英数字 (注)() [] 等不可
作成フォルダ名	全角 14 文字まで
使用機種	
作成枚数	
使用カード容量	
積算カード容量	

■作成情報画面

項目	内容
録音情報	録音会社、アナウンサー等入力
WAVE 作成情報	作成者、編集ソフト等入力
カードデータ情報	作成者、作成日等入力

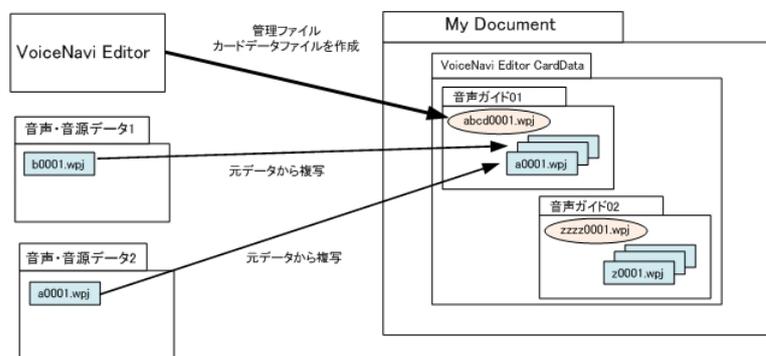
■記録媒体・コメント画面

項目	内容
記録媒体	名称等入力
コメント	コメント入力

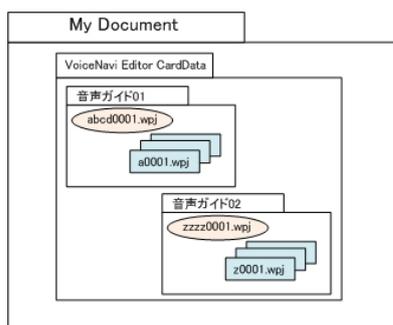
●カード作成ボタンを押すと



■管理ファイル .wpj と音声・音源データの複写



■作成したカードデータの保存場所



| My Document | VoiceNaviEditor CardData | 内

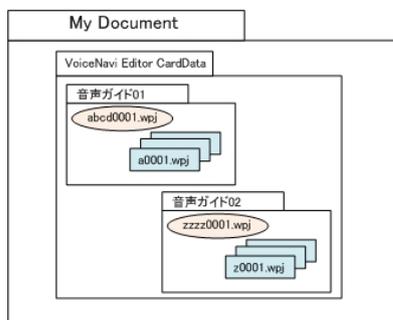
VoiceNavi Editor のカードデータ作成—基本情報—フォルダ名でフォルダを作成し、収納します。

19. 作成したカードデータをメモリカードへコピー

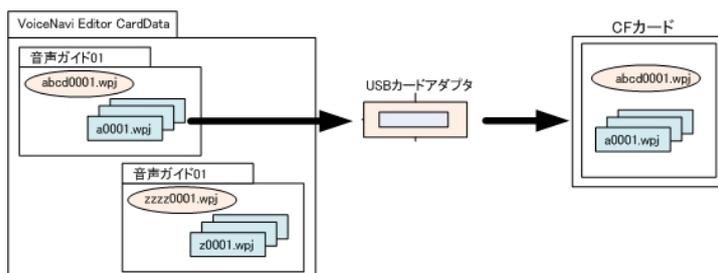
PC 付属または市販の USB カードアダプタを使用して、| My Document | VoiceNaviEditor CardData | 入力したフォルダ名 | 内のカードデータまたはフォルダ毎、Flash カードにコピーします。

■作成したカードデータの保存場所

| My Document | VoiceNaviEditor CardData | 内



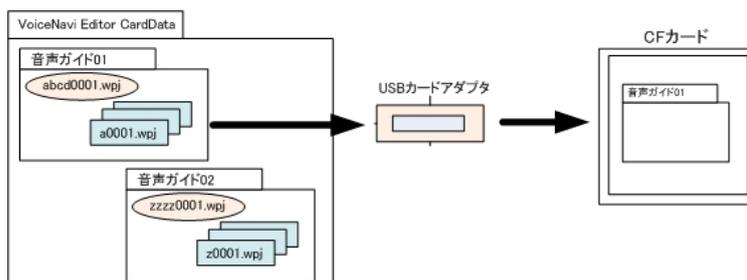
●通常の場合



カードデータフォルダ内の.wpj と.wav ファイルをメモリカードにコピーします

(注)
複数の w pj ファイル、フォルダ毎コピーすると正常に動作しません。(認識できない)

●1000CH タイプの場合



カードデータフォルダ毎、メモリカードにコピーします。

(注)
複数のフォルダをコピーすると正常に動作しません。(認識できない)

20. ドキュメントの印刷

カードデータ作成後、印刷画面で各種情報を A4 横用紙で印刷できます。



印刷したい情報欄をチェックします

項目	内容
エディタ情報	エディタ画面
コントロールデータ作成情報	カードデータ作成
Voice 登録情報	WAVE 登録
ユーザー登録情報	ユーザー情報

使用しているプリンターの印刷画面で枚数を入力します。

21. 音声データの追加・変更

VoiceNavi Editor 上で手軽に音声データの追加・変更ができます。

追加または変更する WAVE ファイルをフォルダに用意します。Flash カード内のデータはハードディスクのフォルダにコピーします。既存のカードデータをエディタ画面のファイル読み込みで読み込みます。

エディタ画面で追加・変更する音声データ(WAVE ファイル)を追加登録、プログラム登録します。

カードデータ作成画面で、カード名称、カードファイル名を入力し、カードデータを作成します。(同一ファイル名を使用しても良いが、上書きします)

【音声データの変更のみの場合】

同一ファイル名の音声データ(WAVE ファイル)を用意して、Flash カードにコピーすればファイル上書きします。

なお、ファイル読み込みした場合、時間・容量などが一致しなくなります。

22. 音声データのアドレス(接点端子)の変更・プログラム登録内容の変更

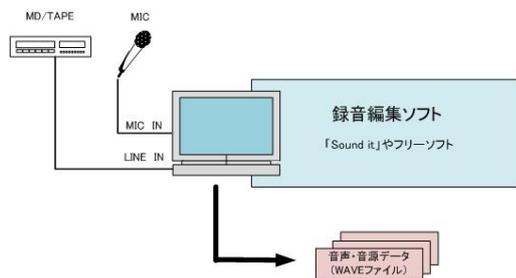
VoiceNavi Editor 上で手軽にアドレス変更やプログラム登録の変更ができます。

Flash カード内のデータはハードディスクのフォルダにコピーします。カードデータをエディタ画面のファイル読み込みで読み込みます。画面上で、アドレス、プログラム内容を変更できます。

カードデータ作成画面で、カード名称、カードファイル名を入力し、カードデータを作成します。(同一ファイル名を使用しても良いが上書きします)

参考資料

■パソコン録音で音源データ(WAVEファイル)を作成する場合



お手持ちのパソコンにマイクを接続して録音(デジタル録音)できます。

録音したデータはひとまず、WAVE ファイル形式で保存します。

録音編集ソフト上の録音レベルメーターでレベル調整しながら録音し、波形を見ながら前後の無音データをカットし、保存します。

【録音機器】

区分	メーカー	備考
マイクロフォン	サンワサプライ	MM-MC10 (マイクミュート OFF SW 付)他
スピーカー	サンワサプライ	MM-SPL2(5W)他 (注)PC 付属または内蔵スピーカーで可。

●録音編集ソフト (注)USB サウンドユニット使用に場合、添付ソフトをご利用下さい。

区分	ソフト名	概要
フリーウェア	SoundEngine (サウンドエンジン)	フリーウェアの定番ソフト 録音編集はこの一本で OK。編集機能も充実しています。 録音レベルメーターがあるので、録音もし易い。
	WavePaseri (ウェーブパセリ)	シンプル操作・日本語表示でわかりやすい。 録音・編集時間:5 分 max. WAV E 録音&加工編集機能。 このソフトで物足りない方は市販ソフト「Sound It」をご使用下さい。
市販ソフト	Soundit ! (サウンドイット)	市販品 9,800 円 録音編集ソフト(コンバート・リッピング機能付) 非常にわかりやすい画面・操作で未経験者でも即使用できる。 これ 1 本で、パソコン録音、音楽 CD からリッピング、ファイルコンバート、データの加工編集ができます。

【一口メモ】

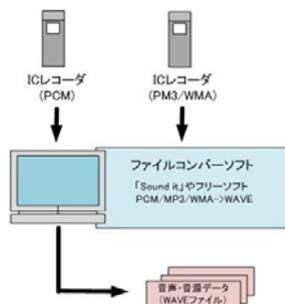
デジタル原音 WAVE AIFF オーディオ CD	アナログから D/A 変換した PCM 形式(パルスコードモジュレーション)のデジタル原音データに拡張子を付記して Window OSでは「WAVE」、MAC OS では「AIFF」を呼びます。 市販オーディオ CD のデータも PCM 形式です。 パソコン上ではオーディオデータは TRACK01～と表示されます。
MP3/WMA 他	上記のデジタル原音 PCM から 1/4～1/10 データ圧縮変換したデータを圧縮変換方式により MP3/WMA データと呼びます。本来、非可逆圧縮データですので本来の原音データには戻せないのですが、近年のコンバート機能を有する録音編集ソフトではWAVEファイルなどの原音データ(近似音)や他の圧縮データへ変換できます。
MIDI	近年のコンバート機能を有する録音ソフトでは WAVE/MP3 ファイル形式などへ変換できます。

■テキスト音声変換ソフトで音源データ(WAVEファイル)を作成する場合

市販のテキスト音声変換ソフトを使用して音源データ(WAVEファイル)を作製できます。
音質やアクセント等の特質を理解の上、購入・ご使用下さい。

名称	メーカー	メモ
VoiceNavi Announcer 2J (Excel アドオンソフト)	三共電子	「ボイス君のテキストスピーチ 2J」バンドル Excel 上で最大 255 メッセージまで試聴・作成できます。 [推奨用途] ・自社工場製造・検査ラインの音声警報・作業指示 ・音声メッセージの原稿内容評価 ・社内開発時評価用 (本番はスタジオ録音)
ボイスソムリエ	日立ビジネスソリューション	高品位 約 9.8 万円 19.8 万円(企業内利用)
美音工房	日立情報制御ソリューションズ	高品位 約 19.8 万円(企業内利用)

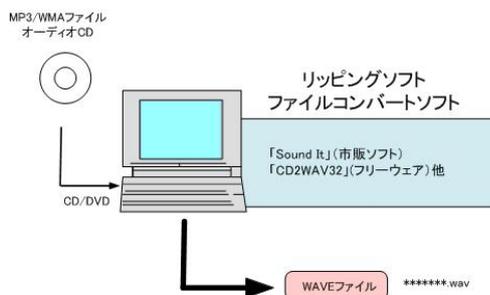
■IC レコーダ (ボイスレコーダ) で音源データ(WAVEファイル)を作成する場合



IC レコーダ (ボイスレコーダ) が普及しています。

IC レコーダ (ボイスメモ) を手軽な録音機として使用し、録音したデータをパソコン上で WAVE ファイル形式に変更します。

■オーディオ CD/MP3・WMA・MIDI ファイルから音源データ(WAVEファイル)を作成する場合



オーディオ CD からリッピング、音源データ(WAVEファイル)の加工編集したい場合、市販ソフト SoundIt を推奨します。フリーウェアソフトで行なう場合、自社責任で行って下さい。
(注)音源データの著作権につきましては自社責任で処理を行って下さい。

区分	ソフト名	概要
フリーソフト	CD2WAV32 日本語専用版有	リッピングソフト フリーウェアでここまでできるかと驚嘆！
市販ソフト	Soundit ! 「サウンドイット」	市販品 9,800 円 録音編集ソフト リッピング ファイルコンバート

(注)上記ソフト-評価済み。他に同様なソフトがありますが自社責任でお願いします。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉 3500-17

TEL 026-257-6210 FAX 026-217-2893

E-mail:info@voicenavi.co.jp

URLhttp://www.voicenavi.co.jp